

令和2年度野生鳥獣による農作物被害及び捕獲数の状況について

1 農作物被害状況

（１）農作物被害額 91,024千円（前年度から3,422千円の減 ▲3.6%）

（２）獣種別被害額と品目

○ニホンジカ：31,685千円（前年度から2,332千円の増 +7.9%）
・品目は、果樹が70%を占める（ユズ28%, ミカン20%, スダチ18%）

○イノシシ：34,114千円（前年度から3,926千円の減 ▲10.3%）
・品目は、水稻32%, タケノコ18%, ミカン16%

○ニホンザル：19,180千円（前年度から1,797千円の減 ▲8.6%）
・多品目に被害があり、品目は、野菜61%, 果樹31%, 水稻6%

（参考）過去5年間の農作物被害額の推移

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
農作物被害額 (千円)	112,598	111,484	103,206	94,446	91,024

2 捕獲数

	合 計	24,129頭…過去最多
（内訳）	ニホンジカ	15,596頭…過去最多
	イノシシ	7,427頭
	ニホンザル	1,106頭

（参考）過去5年間の捕獲数の推移

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
捕獲数					
ニホンジカ	14,013	12,752	12,717	14,355	15,596
イノシシ	6,379	7,488	7,451	8,163	7,427
ニホンザル	1,442	1,388	1,541	1,519	1,106
計	21,834	21,628	21,709	24,037	24,129
対前年比	94.7%	99.1%	100.4%	110.7%	100.4%

3 今後の対策

<ニホンジカ>

- ・「有害鳥獣捕獲」や「指定管理鳥獣捕獲等事業」により、引き続き捕獲圧を高める。
- ・剣山・三嶺付近に加え、県境付近までエリアを拡大して、捕獲対策を強化。
- ・農作物被害と生息密度の関連を調査し、被害軽減につながる捕獲に取り組む。

<イノシシ>

- ・「有害鳥獣捕獲」や「指定管理鳥獣捕獲等事業」により、引き続き捕獲圧を高める。

<ニホンザル>

- ・「捕獲適地の選定」から「管理」、「捕獲」までの一連の技術を「専門事業者」から地域住民等へ「継承」することにより、「継続的な被害対策」の確立。